

学校だより

くすのき

1月号



ホームページはこちらから! 随時更新中→

令和6年1月10日

よこはましりつほんもくみなみしょうがっこう
横浜市立本牧南小学校



はじめに。令和6年1月1日に発生した能登半島地震により被災された多くの皆様に心よりお見舞いを申し上げます。自然災害は、いつどこで発生するか分かりません。その時に備えて、本牧南小学校では防災教育をしっかりと行うとともに、自分たちのまち(ふるさと本牧)を愛する心を大切に、共助の姿勢を育てていきたいと考えております。

「自信」と「過信」

校長 中村 宏

今年の箱根駅伝もたいへん盛り上がり、各大学が白熱した走りを見ることができました。その中で、各大学の監督が、厳しくそしてあたたかく学生とかかわる姿がテレビで紹介されており、私はある大学陸上部の監督であった方のお話を思い出し、「自信」と「過信」について考えました。

その元監督は、自分の現役時代の経験から選手に「自信」と「過信」を見極める力を付けさせたいと考え、指導にあたっていたそうです。現役時代のことをこの方は、次のように語っています。

『大学に入学する直前の2月、別府毎日マラソンのハーフに出場し、予想もしなかった日本最高記録で優勝してしまいました。高校生である私にとって、それがよくなかったのだと思います。自分は、大学でやっていけるのかという不安が、その優勝により払拭され、一気に「過信」が生じてしまいました。その後もトレーニングをしましたが、「過信」ばかりが先立ってはいは、力が付くはずありません。案の定、大学1年の箱根駅伝では10区にエントリーされましたが、前日突然はずされました。監督は、私の練習ぶりから「過信」を見抜いたのです。』



さて、私たち大人は、子どもとどのように関わっていけばよいでしょうか。例えば、子どもが練習を重ね、「やれる」「できる」と信じて臨んだことで、思うような結果が出なかったとします。「よくがんばった」「よかったよ」こんな慰めの言葉しかかけなかったとしたら、その子どもは「過信」が崩れさっただけで、二度と次に向けた練習や学習に本気で取り組むことはないでしょう。「やれる」「できる」と信じて臨んだのであれば、きっと悔しいはずです。その悔しさから、「何が足りなかったのだろう」と考えさせ、気付かせ、次の一步を踏み出せるようにするのが、私たちの役目であると思います。そして再びチャレンジしたときに、自分の成長を感じることができたなら、それがきっと「自信」につながるはずです。また、努力をしているつもりになっている子ども、勝ち続け自分の力を「過信」している子どもに、それを気付かせるのも私たちの役目であると考えます。こうした役目を果たすには、子どもが努力しているその過程、進歩の跡を見逃さない、厳しくそしてあたたかな眼差しが必要だと思います。

この元監督は挫折を経て、今までの自分を省み、新たな挑戦を始めました。そして、大学2年生から4年生までの3年間、見事に箱根駅伝に出場したのです。

あらためまして、2024年が始まりました。本年も安全で安心な学校となるよう、また子どもが「自信」に満ち溢れ、輝く存在となるよう、教職員一同力を尽くしてまいります。引き続き、本牧南小学校の教育活動へのご理解・ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

☆ 令和5年度 しおかぜ南っ子フェスティバル ☆

1年 ♪ 「くじらぐも」 音楽会 ♪

「くじらぐも」を題材とした合唱・演奏を発表しました。トーンチャイム係やえいや一隊など一人ひとりの児童が自分の目標に向かってよりよい発表にしようと頑張っって練習をしていました。本番では全校児童の前での発表が初めてということもあり、とても緊張している様子でした。それでも見ている人や1年生みんなが笑顔いっぱいになるような発表を届けることができました。

また、他学年の発表を見に行く中で、よさに気付いたり、憧れを抱



2年 「みんなであそんでたのしもう、ワクワクおもちゃ」

生活科で学習したおもちゃランドの発表をしました。子どもたちは、作ったおもちゃ以外にも看板や呼び込み方を工夫しながら最後まで取り組む様子が見られました。自分たちが作ったおもちゃで他の学年の友達や保護者の方が楽しく遊んでくれたり、褒めてくれたりしたことが子どもたちの自信に繋がったように感じます。



3年 ♪ 「うんめいだ!!」(リコーダー)

「ひょっこりひょうたん島」(合唱・合奏) ♪

合唱団のような声の出し方を目指して練習してきた3年生。きれいな歌声を響かせることができました。「ひょっこりひょうたん島」は、歌に加えて合奏にもチャレンジ。リコーダーや鍵盤ハーモニカなどを、休み時間にも家でも自主的に練習する意欲的な姿も見られ、みんなで気持ちを合わせて表現することの楽しさを味わうことができました。

生活科・総合的な学習の時間の発表の見学では、他学年と関わって活動したり、よいところを伝えたりしながら楽しむことができました。



4年 「ごみ!なくそう大作戦」「作戦530～ごみの未来を考えよう～」

総合的な学習の時間で学んできたごみのことについて、体験を交えながら発表しました。1組では、劇・新聞・プレゼンテーション・体験コーナーを作り、様々な形で学習発表をしました。学んだことを分かりやすく、楽しく伝えるためにたくさん工夫していました。2組では、動画・クイズ・模型などを用いて、食品ロスや焼却工場の仕組み、分別の仕方について説明しました。



5年 ♪ 5年生らしい歌声と合奏 ♪

1日目に「COSMOS」「千本桜」を発表しました。合唱「COSMOS」は、高音の部分を響かせて、お互いの声を聴くことを意識して練習しました。合奏「千本桜」は、主旋律の楽器を目立たせるために必要な演奏の仕方を考えながら練習してきました。

本番は、堂々とした姿で、練習の成果を発揮しました。全力で取り組む姿が、本当に清々しいです。みんなで力を合わせて、一つのことをやり遂げることに喜びを感じていました。また一つ成長を感じる時間となりました。



6年 最後のフェスティバル!

6年生にとって、最後のフェスティバルでした。「本牧のまちのよさをもっと知ってほしい。」「本牧のまちをもっと好きになってほしい。」子どもたちは、そのような願いをもちながら、これまでいくつかの場所や人を取材してきました。そこから見えてきた人の思いや願いをもとに、各チームで協力して動画を作ることができました。フェスティバル当日は、多くの保護者の皆様や他の学年の子たちに見てもらい、達成感を感じたようです。アンケートでいただいたご意見をもとに、よりよいものにできるよう、クラスみんなで取り組んでいきます。



11/29 ブックフェスタ

来て 見て 知って 本牧南小学校図書館 ～シトリんプロジェクトはじめました～

子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣賞受賞・シトリんプロジェクト導入に伴い、今年度は中区役所より「中区ブックフェスタ」の出場依頼があり、実施することができました。

当日は、約70人の方が来てくださり、張り切って自分たちが大好きな学校図書館のことや今年度取り組んでいるシトリんプロジェクトの取組を紹介することができました。

